

読 響

Yomiuri Nippon
Symphony
55th
Orchestra
55th Anniversary

響

グリンカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲
プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第2番
ドヴォルザーク：交響曲第9番
「新世界から」

日本のトップレベルの
オーケストラ
読響の福岡公演



世界的巨匠テミルカーノフが登場！

華麗なる 新世界

躍動するリズムと輝かしい響き。
興奮のクライマックス！

ベルリン・フィルやウィーン・フィルなどを指揮し、
サンクトペテルブルク・フィルを率いる巨匠

ユーリ・テミルカーノフ（読響・名誉指揮者）

名門ドイツ・グラモフォンからCDをリリースし、
欧州で注目を浴びるスペインの新鋭

レティシア・モレノ（ヴァイオリン）

©Omar Ayashi



読売日本交響楽団（管弦楽）

読売日本交響楽団 名曲シリーズ 福岡公演

2018年2月22日(木) 19時開演 (18時30分開場)

福岡シンフォニーホール (福岡市・天神 アクロス福岡1階)

Thursday, 22nd February 2018 19:00 / Fukuoka Symphony Hall

S¥6,100 A¥5,100 B¥4,000 学生券¥2,000

(全席指定・消費税込)

◆学生券の取り扱いはエムアンドエムとアクロス福岡チケットセンターのみとなります。

◆未就学児のご入場は固くお断りいたします。(有料託児サービス有。詳しくは裏面をご覧ください)

◆都合により演奏者及び曲目が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、FBS福岡放送、読売日本交響楽団

共催：(公財) アクロス福岡 後援：福岡市・福岡市教育委員会 マネジメント：エムアンドエム

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390
<http://yomikyo.or.jp/>
(10時～18時・年中無休／年末年始を除く)

エムアンドエム 092-751-8257
(平日10時～18時)

プレイガイド

アクロス福岡チケットセンター(2階) : 092-725-9112
(10時～18時)
チケットぴあ: 0570-02-9999 (Pコード: 342-283)

協力: 福岡北東・福岡西南・筑後各読売会

世界的巨匠テミルカーノフと読響が遂に福岡へ。 名曲「新世界」が華麗かつ壮大に響く！

現代最高峰のロシアの巨匠ユーリ・テミルカーノフ（読響・名誉指揮者）が、読響とのコンビでは初めて福岡に登場！ 来日時には79歳で、世界各地の聴衆を魅了するマエストロが、ドヴォルザークの名曲「新世界」などで圧倒的な演奏を披露します。

“まるで魔法のようだ”と言われるテミルカーノフの指揮は、さりげない表情の変化と指先のわずかな動きだけで、楽団員を見る見るうちに本気にさせ、温かく色彩豊かな響きをつくり上げます。そして自然に聴衆の心をぐっと掴んでしまいます。

今回は、前半にロシアの作品からグリンカとプロコフィエフの傑作を、後半にはドヴォルザークの「新世界」をお届けします。ロシア音楽を得意とするマエストロは、地理的に近いスラヴや東欧の音楽も得意としており、このプログラムでも練達の手腕を存分に発揮することでしょう。

ドヴォルザーク特有の民俗的な舞曲のリズムを引き立て、親しみやすいメロディをたっぷりと歌い込み、生きる喜びや勇気を与えてくれるに違いありません。「家路」のテーマで有名な第2楽章の旋律も、懐かしい思いを呼び起こし、胸に染み入るでしょう。テミルカーノフと読響の渾身の演奏に、どうぞご期待ください。

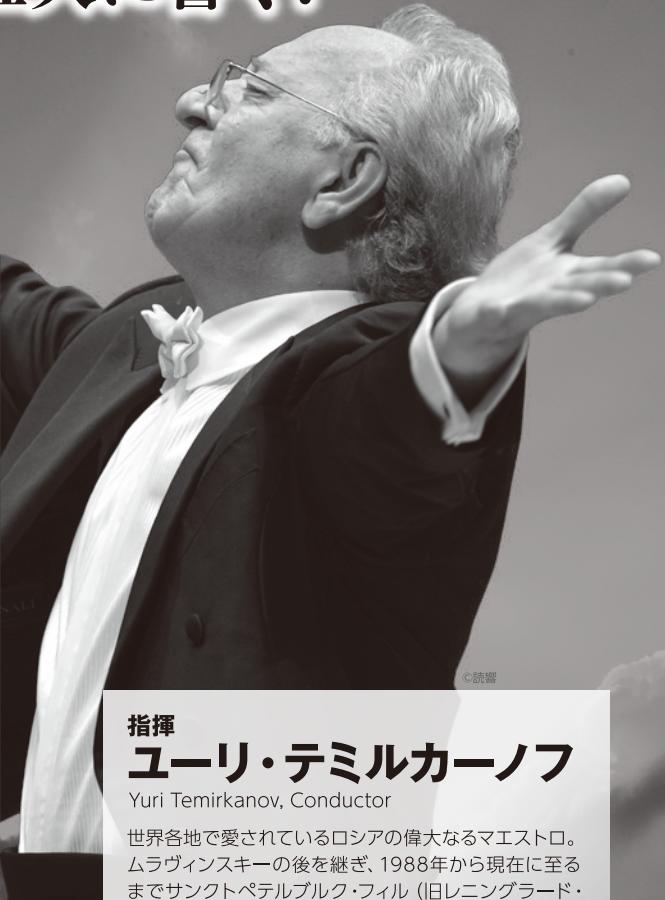
前半のプロコフィエフの協奏曲では、テミルカーノフが絶大な信頼を寄せているスペインの若手ヴァイオリニスト、レティシア・モレノがソリストを務めます。ゲルギエフ、メータ、サロネンら巨匠と次々に共演し、名門ドイツ・グラモフォンからCDをリリースしている期待の新星です。息をのむような美しい音色や完璧なテクニックで、難曲を軽々と弾きこなし、聴衆を熱狂の渦へ巻き込みます。



ヴァイオリン レティシア・モレノ

Leticia Moreno, Violin

欧洲で注目を浴びるスペインの新星ヴァイオリニスト。マドリッドのソフィア王妃高等音楽院とケルン音楽大学などでプロンやヴェンゲーロフに師事。シェリング国際コンクール、サラサーテ国際コンクール、クライスター国際コンクールなどで入賞。2012年に権威ある新人賞“エコー・ライジング・スター賞”を受賞。これまでにテミルカーノフ、メータ、サロネン、エッシャンバッハら著名指揮者の指揮で、ウィーン響、サンクトペテルブルク・フィル、ケルン放送響、マーラー室内管、ワシントン・ナショナル響などと共に演奏している。録音では、名門ドイツ・グラモフォン・レーベルから2枚のソロ・アルバムをリリースし、高い評価を得ている。



©読響

指揮 ユーリ・テミルカーノフ

Yuri Temirkanov, Conductor

世界各地で愛されているロシアの偉大なるマエストロ。ムラヴィンスキーの後を継ぎ、1988年から現在に至るまでサンクトペテルブルク・フィル（旧レニングラード・フィル）の音楽監督・首席指揮者を務め、充実した音楽活動を展開している。これまでにレニングラード響、ロイヤル・フィルの首席指揮者、キーロフ劇場（現マリインスキー劇場）の音楽監督、ドレスデン・フィルの首席客演指揮者などを歴任。ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロンドン響、ニューヨーク・フィルなど世界の一流楽団と共に演奏を重ねている。BMGレーベルから多数のCDをリリース。読響には2000年の初登場以来、共演を重ねており15年6月から名誉指揮者の任にある。楽団員と聴衆双方から絶大な支持を得ている。

読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、オーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立された。アルブレヒトやスクロヴァチエフスキら世界的巨匠が常任指揮者を歴任し、現在はS.カンブルランが常任指揮者を務めている。2015年には、欧州公演をカンブルランの指揮で行い、現地の音楽関係者から最上級の評価を受けた。現在、名誉顧問に高円宮妃久子殿下をお迎えし、東京のサントリーホールや東京芸術劇場などで充実した内容の演奏会を多数開催している。また、病院や小中学校での演奏なども手掛け、社会貢献や音楽文化のすそ野拡大にも地道な努力を続けている。

<http://yomikyo.or.jp/>

託児サービスのご案内

託児サービス（生後4ヶ月から小学校入学前のお子様）をご希望の方は、チケット購入後、下記にお申し込みください。受付は公演前日（土・日・祝日は受付を行いません）までですが、定員になり次第締め切らせていただくことがあります。

（株）テノ・サポート（月～金曜9時～18時） ☎ 0120-8000-29 Tel. 092-263-3580
託児料の一部としてお子様一人につき￥1,000（消費税込）をご負担いただきます。